



うのてん報

発行・秋田県天王町役場 TEL (天王) 1. 42. 135

編集・企画室 印刷・一日市印刷所 TEL (一日市) 38

町のうごき

本籍数	4,107
本籍人口	14,176
世帯数	2,791
住民登録人口	13,246
内 男	6,560
女	6,686

12月1日現在

迎春

1968

新春を迎えて

天王町長 藤原慶三郎

町民の皆さん、明けましておめでとうござい
ます。輝しい昭和四十三年の新春を迎え、皆
さんとともに心からお喜び申し上げます。



本町 基幹作物の稲作は、一昨年は異状は異状天候と低温に悩まされ減収を余儀なくされましたが、昨年は好天に恵まれ、かつ農家各位の研究努力が報いられて史上初の大豊作となり、政府売り渡し米も六千八百七十トン(十一万四千五百俵)という、これまでの最高だった昭和三十九年を二千トン以上も上回る数量に達しましたことは何よりもうれしく、心からお喜び申し上げます。次第です。本年も昨年の豊作に心をゆるめることなく、より以上の増収意欲を燃やし努力されますようお願い申し上げます。

本年は一期藤原町政仕上げの年であり、決意を新たに山積しておる懸案事項に対処いたす所存です。継続事業のおもなものは、農免道路整備事業と二田地区農業構造改善事業であります。共に三年目を迎えております。とくに、農免道路四千六百メートルの全面舗装を実現するか否かは本町の産業、経済はもちろん交通、文化の発展に貢献すること大なるものがあり、これが実現には満身の努力を傾注する覚悟です。

新規事業としては健康で明るい人づくり、町づくりをさらに

推進を進めるため、人づくりの根源である社会教育の充実をめざし中央公民館の建設と、環境衛生の整備改善をはかるためゴミ焼却炉(十トン)の設置を計画しております。また、新産都市の指定に伴う工業開発の促進にも意を用いておりませんが、流動する経済の動向や種々の立地条件等により、工場の誘致もなかなか困難な状況下にあります。しかし、関係機関と密接な連携をとりつつ今後いっそうの努力をいたす所存です。現在は稲作重点の農業政策であることは皆さんご承知のとおりであり、砂丘地および未利用地を開発し、ビニール水田の造成を強く推進し、農家所得の向上を計りたい意向であります。その他国民健康保健の一元化消防力の強化、失業対策問題など解決すべき幾多の難問が前途に山積しておる現状ですが、町民各位のご理解、ご支援を得て本町の将来を誤らぬよう慎重に配慮いたす覚悟です。四十一年度決算は昨年十一月の町議会で認定されましたが、一般会計で千六百万円の黒字をみております。町事業を完遂しつつこのような健全財政を堅持し得ましたことは、町民各位のご理解とご協力のたまものであると、本年も人件費、冗費を節約し、常に町民の福祉を第一に考えて財政を重点的、効果的に投

下し、重要施策を一步一步計画的に実施する考えです。最後に、本町は近き将来、名実共に大発展を約束されておる現状です。いついかなる時代においても若い世代が新しき社会をつくることは、古今東西を問わず永遠の真理であります。この歴史的発展につながる「躍進天王町」の町づくりに、本町の青壮年、ご婦人の皆さんが勇気と誇りをもち、正邪の判断を誤ることなく、明るく豊かな平和郷土建設にご協力くださるよう心からお願いをいたし、町民各位とともに新春をお祝い申し上げます。

天王町民歌

保坂広治郎作詩
竹内英二郎補作
大山会三郎作曲

一、はるかに出羽の
山なみつづき
海原とおく

たかなる潮よ
ながい歴史を
うけついで
理想に進む
人の和に
新産都市を
築くよろこび
わが天王町
力みなぎる

二、八郎潟の
水澄むほとり
松風きよく
豊かな大地
きょうも働く
しあわせに
平和の光
みちている
ああ建設の
音もたから
わが天王町
希望かがやく

新年を迎えて

天王町議会議長 京谷仁太郎



輝し
い昭和
四十三
年の新
春を迎
え、皆さんとともに心からお喜
び申し上げます。

年頭所感

天王町教育委員長 藤原慶一郎



町民
の皆さ
ん、新
年おめ
どう

「子どもたちのために、家庭と地域社会の協力を」
人づくり、町づくりを町の
目標とするのが天王町の教育は
町民皆さんのご協力により、学
校教育の面においても、また社
会教育の部門に関しても、着々
と実績をあげていることはま
ごと同慶の至りでありませ
四十二年度天王町教育の重点
目標は、学校教育については①
学力の向上②道徳教育の徹底と
生活指導の強化③保健と安全教
育④を、社会教育に関しては⑤
総合社会教育体制の確立⑥を取
り上げ、四月以来、教職員なら
びに関係者とともに鋭意努力を
続けていくところであります。
私どもが以上の重点目標を
実現する過程において、一番問題
になることは、児童生徒の家庭
と地域社会全体の協力の問題で
あります。ややもすれば「子ど

る土壌改良、ビニールハウス事
業、ビニール水田の拡張などに
主力を注がれ、その他文教、土
木、福祉行政等においても着々
とその実績をあげておられる
町当局ならびに町議会が表裏一
体となり、真剣になつて町發展
に努力してきた結果であると堅
く信じているものであります。
四十三年度はこれら事業の推
進のほか、町民待望の中央公民
館の建設、ゴミ処理場の建設、
また、道路五ヶ年計画に基づく
町道の舗装工事等の実施が予定
状態はどうであるかについてこ
うおかないしといった家庭も少
なくありません。また、地域の
人々も、子ども達の非行を見て
他人の子だからと注意も与えて
くれない場合もあります。

子どもは、その家庭の宝であ
ると同時に、社会の宝でありま
す。私たち日本民族の、次の時
代にない手でありませぬ。
私どもは新しい年を迎え、町
民の総力をあげて、児童、生徒
の教育に当たれることを誓いた
と存じます。

もの教育は先生方に任せておけ
ば安心」といった古い考え方に
とらわれて、自分の子どもには
なほだしく無関心で、どの程度
の勉強をしているのか、どんな
日常生活をしているのか、健康
状態はどうであるかについてこ
うおかないしといった家庭も少
なくありません。また、地域の
人々も、子ども達の非行を見て
他人の子だからと注意も与えて
くれない場合もあります。

このようなことでは子どもは
りっぱに育たないと思ひます。
学校、家庭、地域社会が一本に
なつて、子どもを見守つてや
つて始めてりっぱな教育ができ
るのであります。
今までの調査の結果によると

新春を迎えて

天王町農業委員長 佐藤栄蔵

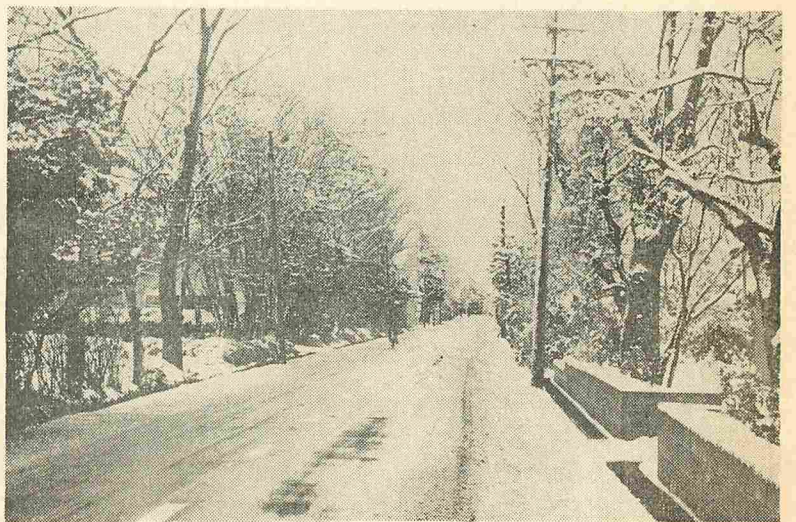


輝し
い新春
を迎え
ご祝詞
を申し
上げます。

申すまでもなく、本町は農業
の町であります。したがつて、
農家個々の経済の向上をなくし
て、豊かな町の建設は望み得な
いといつても過言ではありませ
ん。ここにあらためて深く心を
いたし、近年とみに脚光をあび
てきておる秋田湾地区新産都市
建設、大潟村モデル農村建設を
も展望しつつ、その伸長にわが
農業委員会は一助になつて参り
たい所存です。
しかし、現今の農業情勢はな
おイバラの道であります。これ
をふみわけふみわけ彼岸に到達
しようとする努力は、なみた

されており、相当多額の予算支
出が予想されるのであります。が
町民各位の自覚とご理解(町税
の滞納一掃)により、各種の計
画も早期にその実現をみるこ
とができるものと思ひいたして
おります。
私たちの手で築く「明るく開
けゆく」天王町の一大発展を町
民各位とともに祝福すると同時
に、皆さんのご多幸を念願して
新年のあいさつといたします。

- 一月のこよみ
- 1日 元旦、年賀、初もうで
- 2日 初荷、初夢、書き初め
- 4日 宮庁ご用始め
- 7日 七草
- 8日 町消防出ぞめ式
- 15日 町成人式
- 21日 家庭の日



冬のけしき(二田で)

申請書の提出を

農委選挙人名簿

農委選挙人名簿が
一月一日現在の選挙資格に基づ
いて調整されます。
この名簿は選挙のある、なし
にかかわらず毎年作られるもの
で、関係者の皆さんからの申請
により、農委委員会を経由して
選管で作るものです。
名簿に登載される者は、十ア
ール以上の農地につき耕作の業
務を営むものおよび同居の親族
またはその配偶者で、年間六十
日以上耕作に従事する者です。
申請書は囑託員を通じて一月
十日までに、農委委員会へ必ず
提出してください。申請書を提
出しない者は名簿へ登録されま

せんのでご注意ください。

- ◎用心はどんな『かぎ』にもまさる『かぎ』
- ◎暴力は小さなことでも見逃がさない
- ◎酒、タバコ これが非行の第一歩
- ◎のんだら のるな のるなら のむな

(町内をパトロール)

天王の父兄たち

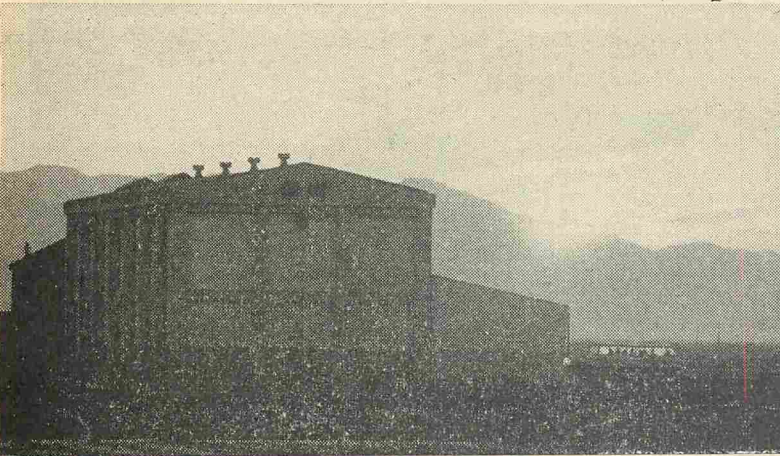
東湖小学区内の天王本郷部落では、PTAや校外指導員らが中心となつて各町内ごとに父兄が班を編成し、去る十二月から町内パトロールを続けている。このパトロールは、非行化の根源となる場所や危険な遊び場をいち早く発見すると同時に、そうしたところへ子どもたちを近づけないようにするために行っているもので、二、三人で一組となり、土、日曜日に重点をおいてパトロールしているが、小、中学校が冬休みにはいつから毎日続けている。

出かせぎ者は役場 で書類の手続きを

パトロール後は各班ごとに日誌をつけ、問題点を発見した場合はただちに部落の世話人である児玉兼蔵さんに報告するとともに、定期的に会議を開いて善後策を話し合うなど本格的なものである。子どもの教育や日常の行動について親の無関心がうんぬんされている時だけに、その活動ぶりは他の部落でも注目されている。

選挙人名簿登録の 手続きを忘れずに

永久選挙人名簿制度になつてから、新しい有資格者(満二十歳以上の人で、引き続き三ヶ月以上本町に住んでいる人)が選挙人名簿へ登録される機会は今三月と九月の二回だけで、必ず本人の申し出によらなければなりません。つまり、三月一日までに登録の申し出のあった人で有資格者は三月三十日に、また、九月一日までに登録の申し出のあった人で有資格者は九月三十日に、それぞれ名簿へ登録され、以後の選挙に投票をすることができるようになります。この手続きをしないといつまでたつても選挙人名簿へ登録されず、選挙権の行使ができません。満二十歳になつた人でまだ登録の申し出をしていない人は、選挙管理委員会へ必ず登録の申し出をしてください。また、他の市町村(他県)から転入した人は前登録地の選挙管理委員会発行の証明書が必要ですからこの証明書を添えて申し出をしてください。なお、申し出をするときは印鑑が必要です。



新しい1968年の夜明け(中羽立で)

はらく非常にこみ合いますので出かせぎから帰った人と県内の季節労働者の書類手続き(求職取り次ぎ)は、一月二十七日まで役場内の出かせぎ相談所で行ないます。

したがって、この間にまつく安定所へ行つても、安定所では受け付けませんので、必ず町の出かせぎ相談所で書類の手続きを済ませてから指定された日(本町は毎週金曜日)に安定所へ行つてください。また、ここから失業保険金の支給方法が「口座振り込み制度」となりますので、この手続きも同時に行ないます。

その他不明な点は役場の民生係へお問い合わせください。

1968 新年 謹賀

天王町役場

- 町長 藤原慶三郎
- 助役 児玉孝之助
- 収入役 大関良太郎
- 企画室長 大関与五郎
- 総務課長 伊藤清之助
- 税務課長 石黒兼造
- 町民課長 大越万治郎
- 経済課長 大関良作
- 建設課長 山寺富治

天王町監査委員

- 金 栄一
- 伊藤 邦夫

天王町固定資産 評価審査委員会

- 委員長 佐々木吉太郎
- 委員 船木助太郎
- 児玉良之助

天王町選挙 管理委員会

- 委員長 鎌田悦郎
- 職務代理 安田慶太郎
- 委員 菊地栄治郎
- 佐藤久代蔵
- 職員一同

天王町議会

- 議長 京谷仁太郎
- 副議長 榎庭梅之助
- 議員 渋谷重助
- 鎌田堅治郎
- 渡部政治
- 三浦重春
- 三浦兼男
- 島崎竹治
- 藤原直一郎
- 石黒喜久治郎
- 松村政雄
- 上坂順治
- 藤原吉治郎
- 佐々木幸蔵
- 児玉長栄

天王町教育委員会

- 委員長 藤原慶一郎
- 職務代理 海山徳之助
- 委員 三浦兼吉
- 西村 鐘三
- 教育長 吉田新祐
- 職員一同

天王町農業委員会

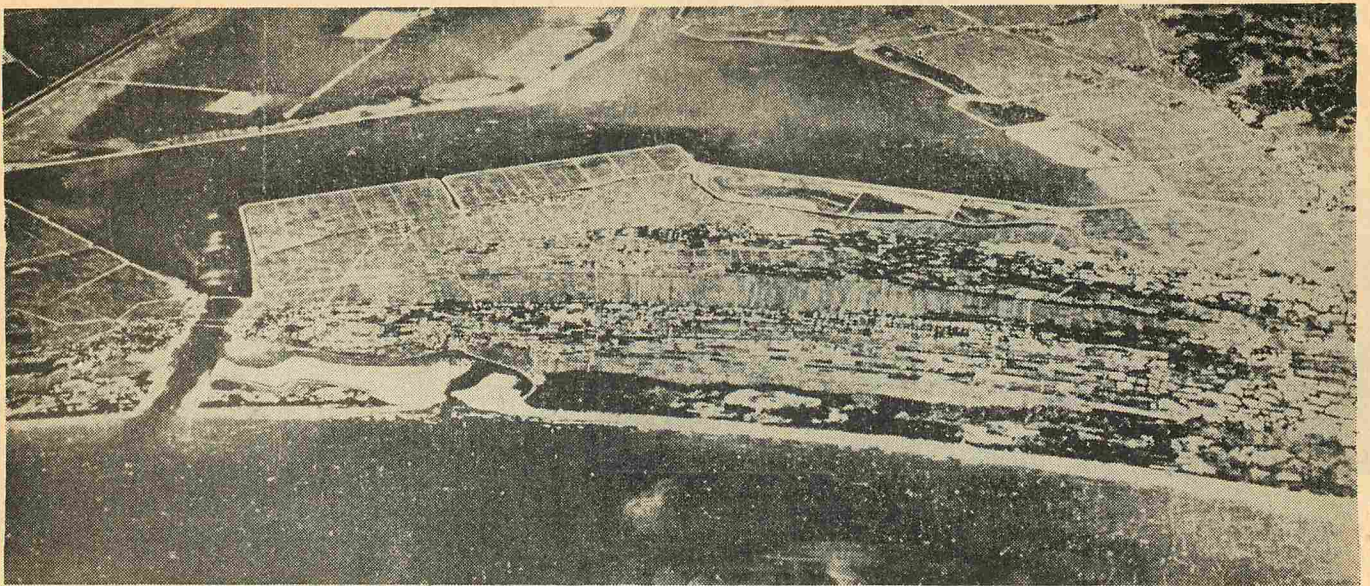
- 会長 佐藤 栄蔵
- 職務代理 安田 亦六
- 委員 上坂 順治
- 浅野惣太郎
- 目黒 久治
- 柏崎金右エ門
- 佐々木吉之助
- 藤原 菊治
- 柏崎 東一
- 海老沢勝治
- 三浦 重春
- 戸田 藤三
- 桜庭専太郎
- 吉田 銀忠
- 佐藤祐太郎
- 古山 良蔵
- 石川久米治
- 加賀谷清吉
- 藤原 金治
- 菊地 貞蔵
- 児玉 正
- 事務局長 田口 巖
- 職員一同

天王町公民館

- 館長 藤原 寛一
- 副館長 後藤 春治
- 職員一同

天王町消防団

- 団長 藤原吉治郎
- 副団長 伊藤武一郎
- 同 菊地 貞蔵
- 同 職員一同



空から見た天王町北部

町の沿革

天王町は雄物川の下流が八郎潟に注いでいた時代に船越という汎(はん)称でとどころに集落が発達したものと考えられ、出戸や江川、天王、蓮沼付近から縄文期の遺物が発見されている。

天王本郷はこのころ副潟(そいかた)村といった伝えがあるが、大永年中(一五二一〜一五二七年)に船越から独立。牛頭(ごず)天王社の称号にちなんで天王村と呼んだ。明治三年(一八七一年)十一月、村名を向船越村と称したが、翌年二月に典農村と改め、同二十三年四月に大崎村と合同して再び天王村となりそれ以後他市町村との合併はなかった。

開拓は塩口部落が延歴年中(七八二〜八〇五年)から、上出戸は天延年中(九七三〜九七五年)からと伝えられ、それより六百年以上遅れて大崎、以後羽立、蒲沼、細谷、児玉、二田と開拓されている。

明治十一年(一八七八年)に八竜橋が開通となり二田駅は船越駅より一年早く大正二年(一九一三年)に開通。昭和二十五年には出戸仮乗車場が開設され、さらに昭和三十一年には上二田と天王にも乗降場が開設された。

昭和二十六年十一月に町政を施行、以来ここに十六年、四十年十一月には秋田湾地区新産都市指定地となり、また、八郎潟干拓地の周辺地として、天王町は大きく変わりつつあり、大発展も約束されている。

天王町勢

【位置】北緯39度53分4秒 東経139度59分26秒

【面積】三五・二二平方キロメートル(地先开拓地四七・一ヘクタールは含まない)

【気象】年間平均気温一一・六度 年間総降水量一一・五三五ミリメートル 過去五年間の天気 快晴五六日、晴八七日、曇一五八日、雨四一日、雪二三日

【人口】国勢調査人口一一、九〇九人(昭40・10現在) 住民登録人口一一、三二、四六六人(昭42・12現在)

【世帯数】国勢調査の世帯数一一、四九六(昭40・10現在) 住民登録の世帯数一一、七九一(昭42・12現在)

【人口密度】三三八人(昭40・10現在)

【選挙人名簿の登録者数】七、五八八(昭42・10)現在

【農家の数】一、四一九戸(昭42・2現在)

【耕地の面積】田一一、三二二ヘクタール 畑一一、九〇〇ヘクタール 樹園地七四ヘクタール(昭42・2現在)

【専、兼業別農家数】専業一一、七三戸 兼業一一、二四六戸(昭42・2現在)

【農家人口】七、八二六人

【農業就業人口】二、七七四人

【農機具所有台数】耕うん機、トラクター一一四八五台 動力噴霧機一一八三台 動力脱穀機一一六二台 動力籾摺機一一二六五台 精米機一一三二一台(昭42・2現在)

【家畜頭羽数】乳牛一一二頭 役肉用牛一一五頭 馬一一二頭 山羊一一四頭 豚一一三三〇頭 鶏一一三七、二二五羽(昭42・2現在)

【商店数】一九一店(昭41・7現在) 【商店の年間販売額】三七、九一三万円(昭40・7) 昭41・6 【商店一店当たりの年間販売額】一九八万円(昭40・7) 昭41・6

【工場数】二六(昭41・12現在) 【工業製品の年間出荷額】一五九四四万円(昭40・1) 昭41・12

【工場当たりの出荷額】六一三万円(昭40・1) 昭41・12 【事業所数】農業一一三 建設業一一五六 製造業一一二七 卸・小売業一一〇五 金融・保険業一一五 不動産業一一一 運輸・通信業一一三 サービス業一一二四(昭41・7現在)

【道路の長さ】国道一一三キロメートル 県道一一二キロメートル 町道一一八・五キロメートル

【橋の数と長さ】永久橋一一五(一五メートル) 木橋六九(二一九メートル)

【町営住宅数】第一種一一三五戸 第二種一一六五戸

【テレビ台数】一、三二七台

町民生活

(昭和四十一年)

▽町予算 町民一人当たり一、九四六円

▽町税 町民一人当たり二、九六一円

▽町職員 町民一〇五人に一人

▽警察官 町民二、九七七人に一人

▽医師 一、二八八世帯に一人

▽出生 一、三二日に一人

▽死亡 四日に一人

▽教員 小学生二六・八人に一人、中学生四四・七人に一人

▽新聞 一・三世帯に一部

▽オートバイ 一・八世帯に一台

▽電話 一二世帯に一台

▽テレビ 一・三世帯に一台

▽水道 二・三世帯に一栓

一月の暮らしのメモ

明けましておめでとうございます。皆さんお元気でよいお正月を迎えられたことでしょう。昭和四十三年、千九百六十八年が、どなたさまにもよいお年でありませう、お祈りいたします。

元日の初まじり、お年賀などお済みですか。わたくしたち日本人、やっぱり、それを済ませないと何となくお正月を迎えたような気がしません。

四日はお役所関係、会社事業場などでは仕事初めです。そんな時の衣服の準備はすでに整っていることでしょう。

六日は小寒。いよいよ寒さがきびしくなります。かぜをひかないように。血圧の高い方はとくにご注意ください。若い方はこたつやストーブにへばりつかず、対抗療法でからだをきたえるのも大賛成で、戸外の運動に心がけてください。

十五日、成人の日。この日成人式をあげる方は「おとなになったことを自覚し、自ら生き抜く決意」がほしいものです。

二十一日は大寒です。これから立春二月五日ごろまでは、一年中でいちばん寒い季節です。この寒さがあければ、春がやってきます。

家庭をあずかる主婦の方々はお正月の気ぜわしさからのがれて一日ゆっくり休養をおとりになることをおすすめします。

成人おめでとう

◎成人式は15日に天王小で◎

々新成人の皆さんおめでとうございます。皆さんの新しい門出を祝う昭和四十三年度の天王町成人式は一月十五日に天王小学校で行ないます。

当日は式典のあと記念講演や町長を囲む会などが催されるなど、成人の日にならわしい多彩な日程が組まれています。

みんなが出席して、成人の日を有意義に過ごしてください。

成人者名簿

【塩口】石川スエ 桜庭東作
桜庭ユキ子 丸谷昇 桜庭ユリ
子 間杉勝美 桜庭サカエ子
木元京子 米谷金一 桜庭兼孝
石井也子 米谷淳一 桜庭久俊
桜庭ユリ子 桜庭美樹子
【中羽立】菅生静子 菅生ユリ
菅生ミサヲ 菅生稔 菅生静男
菅生次雄 菅生花子 根雅幸
菅生憲一

【羽立】安田政利 安田又幸
工藤幸男 安田ミヨ 安田エサ
子 安田敏昭 鈴木京子 安田
三樹夫 堀尾陽子 安田レツ子
西村文雄 西村エス 西村八重
子 安田美智也 安田トモ子
安田兼信 武藤健悦 三浦敏光
鈴木勇幸 安田アキ子
【渋谷】渋谷明美 渋谷ヤン子
渋谷健一 鈴木静子 佐藤セチ
子 桜庭昌一 佐藤奉子
【天王】安田三四郎 米屋範子
三浦金光 沼田由一 沼田末吉
鎌田才恵美 菅原信夫 石川好
美 村山喜代志 柏崎芳江 滑
川金市 沼田豊 鎌田仁磨 鎌
田等 柏崎新光 戸田利道 加
藤那雄 菅生一也 保科孝一

金子エサ子 鎌田登和子 京谷
護 石黒達也 米谷成子 佐藤
テミ子 内田真佐子 児玉貞子
米谷トシ子 戸田洋子 石黒敬
二郎 金子キヤ 京谷悦男 石
黒静夫 大野庄一 鎌田孝雄
石黒ミチ子 鎌田シホ子 柏崎
均 金子隆馬 洞城勝子 米谷
市雄 沼田美紀子 村山認 児
玉孝男 児玉広次 柏崎玲子
児玉昌明 進藤正行 沢木るり
子 鎌田仁 藤田鉄夫 米谷民
憲 榎本康博 石黒むつ子
【江川】伊藤絆紗子 伊藤紀子
伊藤ユイ 伊藤節子 藤原文子
伊藤節子 児玉美智良 藤原辰
雄 伊藤慶一 伊藤十郎 藤原
久夫 斎藤チエ 藤原美男 佐
藤一弘 斎藤順子 武田均 石
黒勇 田村洋子 藤原ユキ子
菊地竹春 藤原不二雄 藤原忠
紀

【児玉】薄田康子 鈴木ユリ子
松村礼子 渡部保孝 佐藤るり
子 渡部テ子
【大崎】吉田けい子 三浦昭春
三浦芳子 瀬下勇 三浦ユリ子
吉田兼雄 三浦敦子 鈴木成機
三浦ナミ子 吉田和雄 吉田シ
エ 吉田理正 三浦弘 吉田秋
子 三浦隆 三浦ノブ子 和田
信男 和田テイ子 三浦健雄
三浦テツ子 吉田次子 三浦栄
子 三浦義文 古戸幸子 三浦
ミチ子 三浦スエ 三浦良子
三浦長寿郎 菅原之子 鈴木健
治 下間しげ子 三浦勝子 草
皆春一 三浦キエ子 三浦富美
子 伽羅谷澄子 三浦一男 石
井功 三浦孝洋 三浦ミツ子
【二田】小柳祐市 後藤稔 船

木正義 樋口猛 大関敏昭 佐
々木美保子 鈴木慶雄 鎌田英
雄 桑原富一 武藤康弘 熊谷
泰夫 鈴木真志子 畔上カヨ子
渡部仁吉 京谷英久子 三浦美
保子 田口克彦 柳原昌宏 星
野トシ子 安田雅子 滑川富雄
大関貴資子 千葉ミチ子 近藤
純子 寒川井孝子 三浦啓子
佐藤雅広 佐藤政美 渡部正
渡部良美 伊藤貞子 加藤政樹
加藤洋子 薄田謙輔 工藤信彦
真壁恵美子 堀井一信 武田敏
子 小沼キヨ子 桜庭一雄 佐
々木久子 藤原美代子 真壁孝
子 佐藤誠子 石井貞子 三浦
五郎 海老沢栄子
【鶴沼台】加賀谷正 松岡建三
松井友子 木元正樹
【蒲沼】鎌田敏栄 鎌田重春
古戸昇 鎌田弘子 武藤敏子
【下戸】加賀谷邦夫 佐々木
政子 佐々木良勝 佐々木チサ
前田順子 加賀谷和子 佐々木
宏 石井智世美 佐々木勉 佐
々木亮子 畠山章蔵 佐々木芳

8日に出ぞめ式

◇永年勤続団員らを表彰◇

このほど内定した。

知事表彰

有功章【第三分団】伊藤春蔵（分団長）
二十年勤続章【第二分団】柏崎

恒例の天
王町消防団
出ぞめ式は
一月八日午
前十時三十
分から天王
中体育館で
行なわれる
が、この式
で第三分団
の伊藤春蔵
分団長をは
じめ、次の
人々が晴れ
の表彰を受
けることに

兼吉（班長）柏崎喜市（同）戸
田五郎兵衛（同）【第三分団】
石黒豊之助（副分団長）【第五
分団】吉田理之助（班長）【第
六分団】西村由蔵（班長）【第
八分団】佐々木貞直（分団長）
佐々木松之助（副分団長）加賀
谷久治郎（班長）佐々木孝市（
同）加賀谷豊治（団員）佐々木
嘉吉（同）佐々木雷蔵（同）佐
々木鶴治（同）佐々木芳三（同）
加賀谷忠蔵（同）加賀谷与市（
同）【第十二分団】渋谷健吉（
班長）【第十二分団】菅原与十
郎（分団長）菅原鉄太郎（副分
団長）菅原幸太郎（班長）菅原
兼太郎（団員）。

消防協会長表彰

十五年勤続章【第三分団】藤原
生之助（団員）【第十分団】渋谷
滝雄（班長）。

男鹿南秋支部長表彰

七年勤続章【第二分団】児玉和
男（団員）佐藤知雄（同）【第
四分団】菊地茂（団員）古山市
雄（同）【第五分団】菅原長八
（団員）【第六分団】安田一十
三（団員）【第七分団】桜庭良
一（団員）【第十分団】渋谷信
一（団員）菅生勇（同）【第十
一分団】菅生喜作（団員）
一般【第二分団】児玉英逸（団
員）【第三分団】藤原直一郎（
団員）【第四分団】菊地茂（団
員）【第五分団】吉田理之助（
班長）【第七分団】桜庭俊雄（
団員）【第十二分団】菅原良蔵
（団員）。

男鹿分会長表彰

五年勤続章【第一分団】真壁末
治郎（団員）【第三分団】伊藤
清太郎（団員）【第七分団】
佐藤幸孝（団員）桜庭岩春（同）
桜庭一明（同）桜庭進（同）
【第八分団】加賀谷恵一郎（団
員）【第十分団】桜庭金作（団
員）【第十一分団】日黒吉之助
（団員）。

新有権者の 感想文募集

自治省、都道府県選管連合会
などの主催で「新有権者の感想
文」を募集しています。
明るく正しい選挙推進運動が
全国的に展開されてから、すで

に十五年になります。選挙の
実情はまだ理想とはほど遠いも
のがあり、いっそうの努力が望
まれます。
そこで、一日も早く明るく正
しい選挙を実現させるために、
新鮮な感覚と意欲をもった新有
権者の感想文を募集し、選挙権
行使の重要性について認識を深
めると同時に、これを通じて広
く一般国民の政治意識の向上に
役立てようとするものです。
募集要項は次のとおりです。
多数応募してください。
内容と標題 新有権者としての
民主政治とくに選挙に対する
自覚を内容とするもの。標題は
自由。
文の長さ 二百字詰め原稿用
紙十枚以内。
応募資格 昭和二十二年一月
一日から同二十三年十二月三十
一日までの間に生まれた者。
締め切り期日 昭和四十三年
一月三十一日（当日消印のある
ものは有効）。
送り先 東京中央郵便局区内
自治省選挙局管理課あて
入選者決定 昭和四十三年三
月上旬（本町関係者は広報てん
のうで発表）。
賞状および賞金 入選者には
自治大臣から賞状と賞金を贈り
ます。▽一等二万円（一点）
▽二等一万円（二点）▽三等
五千元（三点）▽佳作二千元
（若干）。
応募上の注意 ①原稿の末尾
に応募者の住所、氏名（ともに
ふりがなをつける）。性別、生
年月日、職業を明記のこと（枚
数制限外）。②封筒の表面左下
に「感想文中」と明記すること。
③入選作品は、明正選挙推
進運動に自由に使用します。④
この感想文募集が行なわれてい
ることを知った媒体名（新聞紙
名、ラジオ、テレビ局名、市町
村広報紙名）などを記入するこ
と。⑤作品は返却しません。

善意がいっぱい 歳末助け合い運動

十二月中に行なわれた歳末助け合い運動には、町内からたくさん善意が寄せられた。募金は各個からの一般募金が十三万二千三百三十一円、役場庁内募金千三百四十四円合わせて十三万三千四百七十五円に達し、昨年をかぎり上回ったほか、衣類も天王更生保護婦人会(鈴木千代子会長)からの百八十八点をはじめ、下出戸地区(代表加賀谷一郎さん)から十四点、二田の桜庭質店から七点、それに秋田市の鶴谷商店から学童服十七着、同じく秋田市の仁村KKから毛布十七枚が寄せられた。このほか塩口の若葉会(桜庭慧子会長)からは米四十キログラムが寄せられるなど「みんなそろって楽しいお正月を」のキャッチフレーズにふさわしい贈りものばかりだった。

町社会福祉協議会ではこれらを次のように配分することに決め、十二月二十六日各民生委員が配った。

正 天

追分西 渡部 六愁

旋回すハト初御空天王町

その人の個性まざまざ賀状の

礼

初ふろの湯気につつまれ骨を

もむ

濃く深く三ヶ日の闇(やみ)

かもす悴(さち)

初風(はつなぎ)の光が砂丘

浮き彫りに

仕事初めガスを掘るやぐら空へ

組み

冬霧に動かぬ牛のそしやく音

松林のけものにきびし寒に入

▼要保護家庭(三十五世帯)へ三万三千七百円▼被保護家庭(四十八戸)二万八千四百円▼要保護家庭の児童へ学用品(二百六人)二万六千円▼養老院入居者(五人)五千円▼長期療養者(二十九人)四万三千五百円▼施設(六ヶ所)六千円▼県納

二十歳になられた皆さん、国民年金への加入はもうお済みでしょうか。国民年金は、厚生年金や職員共済組合など他の年金制度に加入できない人たちのためにできた年金制度で、二十歳以上の人(明治四十四年四月一日以前に生まれた人は除く)は必ず加入しなければならぬことになっています。つまり、老後において公的生活保障のなかつた農業、自由業

生活の安定は国民年金で

二十歳になられた皆さん、国民年金への加入はもうお済みでしょうか。国民年金は、厚生年金や職員共済組合など他の年金制度に加入できない人たちのためにできた年金制度で、二十歳以上の人(明治四十四年四月一日以前に生まれた人は除く)は必ず加入しなければならぬことになっています。つまり、老後において公的生活保障のなかつた農業、自由業

商工自営業の従事者たちに、将来の経済的安定を約束するためにできた制度です。まだ加入しておられない人は、すぐ役場へハンコを持ってきて加入の手続きをしてください。また、加入していても保険料に未納のある人はすぐ納付して、将来の生活安定のため「完納」の国民年金手帳を手に、新しい年をお祝いしましょう。

なお、不足額は町社会福祉協議会から支出することとし、衣類などの配分については福祉事務所および担当主事と協議して被保護家庭や施設へ贈ることとした。

天王の平塚晃さんとこのほど町社会福祉協議会へ「次女美也子不幸の際の香典返しです」と五千元を寄せられた。

献血ありがとう

【天王高等技芸学

校】畠山委子、藤

原シズエ、児玉キ

シ子、佐藤厚子、

佐藤セチ子、伊藤

昌子、鎌田威子、

安田春子、石川ケ

イ子。【天王】西

村義子、上坂順治。【田仲工業】

佐藤勝雄、天野五郎。【二田】

小沼登志男、三浦タケノ。【上出

戸】佐藤昇、菊地福右エ門。【役

場】鈴木清、山初善男、三浦満

滑川稔、鈴木久雄、中泉作右エ

門、菊地政義、加賀谷清、武藤

キクエ、鈴木正克【天王高等農

慶弔だより

(昭和四十二年十一月)

お二人の前途を祝福します

江都川 藤原信子 藤原信子 藤原信子

菊地美和子、斎藤裕子、佐藤洋子、成田義子、茂木琴子、佐々木こと子、田中信子、石橋聖子、佐藤まき子、佐々木陽子、田口マユミ、佐藤清子、坂本京子、渡部ルリ、戸沢たつ子、柳館ヨコ、坂垣政子、田口スガ、田中真知子、加賀谷喜美子、佐藤さち子(以上百十名)

北野 長渡 長藤 長原 長男 三浦 三男 三女 三子

北野 長渡 長藤 長原 長男 三浦 三男 三女 三子

二馬 羽立 二田 野口 西村 西田 野口 野口 野口

江川 追分 北野 北野 北野 北野 北野 北野

上江川 上江川 上江川 上江川 上江川 上江川

大崎 上江川 上江川 上江川 上江川 上江川

北野 長渡 長藤 長原 長男 三浦 三男 三女 三子

おくりあげます

天王 村山 久吉(66才)

三野 日野 ヨシ(60才)

天 今井 博文(94才)

天 石黒 仁太(59才)

天 吉元 徳治(33才)

訂正 広報でんのう昨年十一月一日号慶弔欄「誕生おめでとう」で「江川・児玉金一長女陽子」とあるのは「児玉一夫長女陽子」の誤りですので訂正しておわびします。